

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	新政南アルプス 村松 三千雄	1. 山梨県の「人口減少危機突破宣言」を受けての子育て支援・移住定住政策戦略について	<p>山梨県は6月9日、人口減少に歯止めがかからない現状を受け「人口減少危機突破宣言」を打ち出し、危機的な状況を県民と共有し、官民挙げての出生率回復に向けた取り組みを促進されるとのこと。人口減少に関し、都道府県レベルで危機宣言を出すのは全国初という。</p> <p>また、山梨県北杜市で開かれていた全国知事会議で7月26日、深刻な少子化や人口減少といった問題に対応するため、子育て政策の抜本的な強化を盛り込んだ「山梨宣言」を採択した。</p> <p>さらに、8月24日、山梨県市長会は「少子化対策の推進」を求める要望書を県に提出した。</p> <p>本市は、独自性のある多様な子育て支援や、市内へ移住・定住政策に力を注ぎ人口の増加を目指し、令和3年・4年と本市の人口が増加している現状を踏まえて。</p> <p>(1) 長崎山梨県知事は「人口減少危機突破宣言」を出し、現時点での政策パッケージを取りまとめる方針を示したが、本市は、豊かな自然環境と移住促進政策、そして充実した子育て支援を展開し2年連続で人口増となっている中で、山梨県と全国知事会議の宣言を本市はどのように捉えているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	新政南アルプス 村松 三千雄		<p>(2) 広報南アルプスの7月号で、人口増加を一過性のもので終わらせることなく「住むなら南アルプス市」と引き続き選んでいただけるよう、魅力ある政策を展開していくとしているが、この宣言により更なる政策戦略を考えていくのか。</p> <p>(3) 活力ある南アルプス市を維持するため、「人口ビジョン」を踏まえ「総合戦略」で4つの目標を設定し、その1つに「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」としているが、地域別人口の推移を見ると、若草地区のみが増え続けている現状である。 そこで、空き家対策を含め地域の未来思考で「行政としての土地利用」を再構築し、民間主体の活動に向けた機運をさらに醸成していくことが必要と考えるが、市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	<p>躍進会</p> <p>戸栗 淳</p>	<p>1. 南アルプス市における小中一貫教育について</p>	<p>(1) 現在の進捗状況について 小中一貫教育の取り組みは、山梨県では当市が第1号として、平成30年度から1小1中の芦安・八田中学校区で始まり、令和4年度には白根巨摩中・楡形中・若草中学校区、また本年度には甲西中学校区、白根御勅使中学校区が小中一貫教育校として展開してきた。平成30年から早5年が経過した中で、途中コロナ感染による停滞期間もあったと思われるが、現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 教員の小中一貫教育に対する理解度について 小中一貫教育に関しては、教員の理解度も非常に大切であると認識している。また県内初という事で戸惑いを感じる教員もいると思うが、どのように対処しているのか。</p> <p>(3) 小中一貫教育の導入による教員の労働時間（多忙化）の影響について 近年、教員の多忙化による労働の長時間化の問題をよく耳にするが、小中一貫教育の導入に当たり、何らかの影響は出ていないのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	<p>躍進会</p> <p>戸栗 淳</p>	<p>2. 芦安の小中学校 について</p>	<p>(1) 芦安の小中学校の生徒数について 今の芦安の小中学校は学区を問わず南アルプス市全体からの募集で成り立っている感が否めない。というのも、芦安小学校の全校生徒は26人であり、その内13人が地区外からの生徒である。また中学校では8人の全員が地区外から通っている。市教育委員会としては、生徒数ほどの程度が適正と考えるのか。</p> <p>(2) 芦安小中学校の教育方針と存続について 芦安の小中学校では、以前、「教育課程特例校」として、英会話科が設けられ、グローバル社会に対応した教育が受け入れたと認識していた。しかし、その後特例校としての枠組みが外れたと聞いているが、今でも何か特色を持った教育が行われているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>公明党</p> <p>河野 木綿子</p>	<p>1. 誰一人取り残されない学びの保障にむけた不登校対策「COCOLOプラン」について</p>	<p>(1) 全国の小中学校で不登校児童生徒が急増し、約30万人となる中、文部科学省は、令和5年3月に誰一人とりのこされない学びの保障を社会全体で実現していくとの「COCOLOプラン」を発表した。本市では「WING（ウイング）」の取り組みをしてきたが、分教室型も含めた設置促進である「不登校特例校」として推進する考えは。</p> <p>(2) 1人1台端末の活用について、授業を自宅や本市の「WING（ウイング）」や校内のスペシャルサポートルーム等に配信し、オンライン授業が出来る指導体制が確立されることが重要となる。現状と今後の取り組みの考えは。</p> <p>(3) 多様な学びの場を確保するためにNP〇やフリースクールとの連携強化と公民館・図書館等も含めた活用の現状と今後の取り組みの考えは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>公明党</p> <p>河野 木綿子</p>	<p>2. 学校図書館の充実と読書活動の推進について</p>	<p>(1) 学校図書館は、図書館資料を児童生徒や教員の利用に供すること等により、「学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の健全な教養を育成すること」を目的とするもので、重要な役割がある。そこで、本市での小中学校での学校図書館の設置状況と学校図書館の蔵書の現状は。</p> <p>(2) 発達段階に応じた読書活動推進の取り組みの現状と、今後の取り組みの考えは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田 亜由未	1. 子ども・子育てに関する相談体制のあり方について	<p>(1) 児童生徒のための相談体制について、タブレット端末内に「相談」のアイコンが導入されたことは山梨県内でも先進的であり、評価する。今後、児童生徒、また保護者へ向けてどのような形で随時周知し、活用していく考えか。</p> <p>(2) 2017年からスタートしたふれあいダイヤルについて、近年、子どもたちを取り巻く環境が多様化し、課題も多岐にわたっていることから、相談窓口には専門的な知識と経験を持つ相談員が必要であると考えます。現在、相談にあたる相談員はどのように選任されているか。また、相談内容について担当課でどのように共有・分析し、その後の総体的な支援策に反映させているか。</p> <p>(3) 妊娠出産から乳幼児期において、さまざまな事情や背景を抱える場合には相談窓口に繋がらないことがあり重大な事件に発展するケースもある。すべての悩みに寄り添う体制をさらに強化し、周知する必要があると考えますが、市の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田 亜由未		(4) 多様な課題を支援するためには、部局間での連携を強化する必要があると考えるが、本市の具体的な取り組みは。また、今後は子どもたちや保護者の課題を総体的に支援していくための体制の整備が必要であると考えているが、市の見解は。

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田 亜由未	2. 未来を創る人づくりについて	<p>(1) 本市では、青少年育成事業の一環として「ジュニアリーダー育成事業」に取り組んでいるが、その活動の状況は。</p> <p>(2) 令和5年4月に施行されたこども基本法の中で「自己に直接関係するすべての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」とある。今後は本市においてもこども若者の意見を拾い上げる取り組みが必要だと考えるが、本市の見解は。</p> <p>(3) 現行の総合計画では「未来を創る人づくり」についての施策が記載されていない。今後は本市の未来を創る人づくりが大変重要であり、すでに着手されている新たな総合計画に明記する必要があると考えるが、市の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 有野 一成	1. 国際交流と外国人の暮らしについて	<p>(1) 多文化共生を目的に南アルプス市国際交流協会を中心に、日本語教室や姉妹都市交流事業など様々な国際交流事業が実施されているが、その現状と課題は。</p> <p>(2) 市総合計画の施策に掲げられている多様性社会の構築の中で、外国人が安心して暮らせる環境を確保すると述べているが、その具体的な取り組みや課題は。</p> <p>(3) 本市の国際交流協会は県内では唯一市から独立した組織となっている。市から独立させた意図は何か。また、国際交流協会として目指す方向は、更に、協会をどのように発展させていくのか市の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 有野 一成	2. 保育所、幼稚園等のグラウンド芝生化の推進について	<p>(1) 全国では、学校や保育所等のグラウンドを芝生化する市町村が増えてきている。グラウンドの芝生化は、未来を担う子供達の豊かな心の醸成や、近年低下傾向にある子供達の体力向上、また、環境面でもメリットがある等、様々な効果が期待されている。 本市においても保育所や幼稚園等の庭の芝生化を推進していく必要があると考えられるが、市の所見は。</p> <p>(2) 芝生化は初期投資に多額の費用と維持管理に手間がかかり、その実施には支障があると言われている。しかし、創意工夫すればある程度のコストや手間等は抑えられ、以前よりグラウンド等の芝生化を実施しているところが増えてきている。 本市でも市内どこか1つの保育所等をモデルとして芝生化を実施し、その効果を検証していくことが必要と考えるが、市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	新政南アルプス 飯野 多恵子	1. 高齢者の外出支援策拡充の考えについて	<p>(1) 令和3年12月議会の一般質問において、公共交通のあり方と活性化の質問を行った。その中で、タクシー利用助成事業の活用も含めた「高齢者の外出支援のあり方」について、交通弱者対策、高齢者対策等の両面において、改めて検討するとの回答をいただいた。質問から約2年経過するが、その後の検討状況は。</p> <p>(2) 高齢者の外出支援としてコミュニティバスやデマンドタクシーなどがあるが、本市の現状としてタクシー券は有効と考えるが拡充の考えがあるか。</p> <p>(3) 高齢者の外出支援の一部をささえあい協議体が担っている地域もあるが、このような状況を市としてどのように捉えているか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>躍進会 花輪 幸長</p>	<p>1. 通学路の安全対策について</p>	<p>通学路の安全対策については、特に歩道が未整備、狹隘で自動車通行が多いところの通学路について問題視されている。 従って、拡張可能な側道接続地を順次購入し緊急時の避難場所にしたらと思うが市の考えは。</p>
		<p>2. もも穿孔細菌病防除費助成について</p>	<p>もも穿孔細菌病対策については、県・市の要綱により農薬散布費用の一部が助成されてきた。しかし、令和4年5月に発令された県『もも穿孔細菌病終息宣言』により今年度まで実施予定であった市の単独助成措置も休止された。 しかし、常発地帯とも言われる市内も栽培には徹底した防除が必要である。発生予察を基本とした助成対策は今後も必要と思うが市の考えは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	躍進会 保坂 広人	1. 南アルプス I C 新産業拠点整備 事業に係る交通 渋滞対策につい て	南アルプス I C 新産業拠点整備事業に伴う交通渋滞対策について具体的にどのように考えているのか本市の考えは。
		2. 南アルプス I C の周辺開発等を 踏まえた市全体 の道路整備計画 について	南アルプス I C 周辺整備事業では、高度推進計画が策定され未来を担う都市機能の構築が期待されている。しかし、本市の都市構造は大きく変化しようとしている。そこで、本市全体の道路整備についてどのように計画しているのか。

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	公明党 小池 伸吾	1. 子ども食堂について	(1) 子ども食堂の現状は。
			(2) 補助金について市の考えは。
			(3) 今後の方向性を市ではどうとらえているか。
		2. 自転車の安全対策について	(1) 小中学校における自転車の安全運転のための取り組みの現状は。
			(2) 市民向けに、自転車の安全教室の実施が望ましいが市の見解は。
			(3) 自転車のヘルメット着用が努力義務となったことを受け、市民全員を対象とした補助制度を提案するが、市の考えは。

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	保坂 健	1. 甲西農村環境改善センターの多目的ホールの今後について	<p>甲西農村環境改善センターの耐震診断調査結果について、多目的ホールについては、地震の振動及び衝撃に対して倒壊または、崩壊する危険が高いと判断する診断結果であった。</p> <p>また、補強に関する診断結果の所見では、今後の建物使用年限と経済性等を鑑みて、建て替えが妥当との判断が記載されていた。</p> <p>かかる状態をどのように認識し、今後どのような対応を講じるのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	小林 敏徳	1. 完熟農園の債権者と今後どのように関わっていくか	株式会社南アルプスプロデュース設立から完熟農園に最大限協力して下さった、債権者の人達とこれからどのように関わっていくのか。市の考え方は。

令和5年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	松野 昇平	1. 公営住宅の住環境整備について	<p>社会情勢を踏まえた多様なニーズに対応するため、バリアフリーなどに配慮した、福祉対応型公営住宅への更新が必要と考える。市の所見は。</p>
		2. 保育所の入所環境について	<p>(1) 南アルプス市は、県内で先駆けて保育料の完全無償化を実施した。一方で、入所希望者や市内への移住者が増えたことにより、希望する保育所に入れなかった声や、希望する保育所に入れないといった声を聞く。現在の入所状況をどう捉え、対応をするか。</p> <p>(2) 保育士の処遇改善や正規保育士の増員といった保育士不足を解消するための対策について、市の所見は。</p>
		3. 自衛隊への名簿の提供について	<p>地方自治体が、住民基本台帳から抽出した市民の情報をデータ・紙媒体によって自衛隊に提供することは、個人情報保護の観点などから問題があると考えられる。市の所見は。</p>